

習志野の軍事の歴史を伝える資料館の提案その2

Proposal of museum to tell the military history in Narashino 2

佐藤信治¹, ○奥村碩人²
Shinji Sato¹, *Sekito Okumura²

In my hometown of Funabashi, Chiba Prefecture, there is the Narashino Training Area of the Ground Self-Defense Force. The training area is surrounded by a fence, separating it from the city. The Narashino area of Funabashi City has a rich military history, with many pastures for training military horses and military facilities built there. In order to carry on this history, a history museum was designed to trace the history in chronological order along the 1km Narita Kaido road that borders the training grounds, connecting the city and the military. The museum will express the military events of Narashino in an architectural space and exhibit materials from that period.

1. はじめに

私の地元である千葉県船橋市そして八千代市には、陸上自衛隊習志野演習場がある。演習場は、演習場の近くにある習志野駐屯地に拠点を置く第一空挺団が訓練のために使用する練習場である。演習場は、東西に約3km、南北に約1kmと都市部にありながら広大な面積を有する。

しかし、演習場は、周囲をフェンスで囲まれ街と隔離している。



Figure1. Map of Narashino training ground^[1]

2. 計画背景

2. 1 豊富な軍事の歴史

演習場のある船橋市は、1700年代、軍馬を育成す

る放牧場であった。その後、1873年、明治天皇が御親臨のもと大演習が行われ、この地を「習志野原」と命名した。1901年には、日露戦争に備え大規模な軍施設が建てられた。1905年、19015年に大規模な捕虜施設が建てられた。その後、軍馬の時代が終わり、1955年、首都圏に近く広大な敷地のある船橋市に第一空挺団が設置され現在に至る。

2. 2 空挺館

演習場近くには、空挺館という建物がある。ここでは、多くの軍事に関する歴史資料を展示している。しかし、空挺館は月に一度、不定期に一般開放されており展示を鑑賞する機会が少ない。そのことから、資料館を設計することで、街に展示を開いていく。

3. 基本計画

習志野演習場に接する成田街道沿い約1kmに着目した。ここに、フェンスに代わって資料館を設計し、約1kmに渡って歴史を巡る。

4. 建築概要

所在地：千葉県船橋市習志野3丁目1

主要用途：歴史資料館

敷地面積：23400 m²

建築面積：4300 m²

延床面積：4300 m²



1：日大理工・教員・海建 Department of Oceanic Architecture and Engineering, College of science and Technology, Nihon University

2：日大理工・院(前)・海建 Department of Oceanic Architecture and Engineering, College of science and Technology, Nihon University

4. 建築計画

4. 1 1873年 明治天皇が「習志野原」と命名

明治天皇は高台から大演習を視察したことから、美術館の鑑賞者は高い位置から展示物を見下ろす空間を設計した。

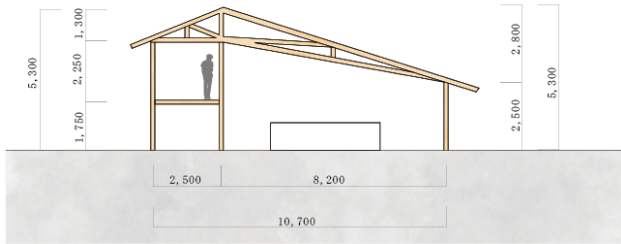


Figure2. Section



Figure3. Perspective to look down exhibit

4. 2 1904年 日露戦争勝利とロシア捕虜収容

日露戦争での日本軍の勝利を、空間が先につながることで表現した。ロシア捕虜収容中の死を、慰霊碑と水盤によって追悼の空間として表現した。

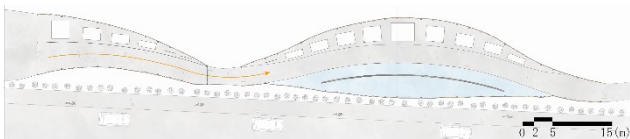


Figure4. Plan



Figure5. Perspective with Cenotaph and water basin

4. 3 1908年 鉄道連隊の軍施設が建てられた

千葉公園には、鉄道連隊がトンネル工事演習を行った時のトンネルが保存されている。そのことから、トンネルのような架構が連続する空間を設計した。

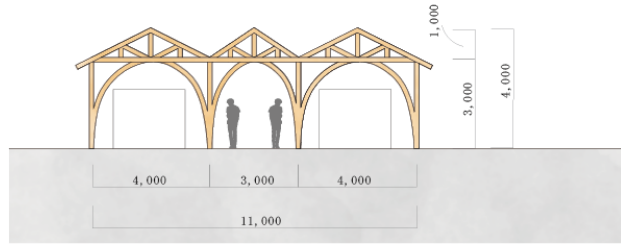


Figure6. Section



Figure7. Perspective with structure of tunnel

4. 4 1942年 メナド・パレンバン空挺作戦

空中に浮遊する落下傘から、建物を浮かせ起伏のある動線を計画。円形の落下傘から円形の架構を用いた空間を設計。

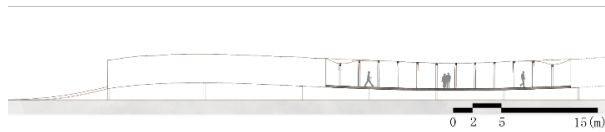


Figure8. Section



Figure9. Perspective with structure of circle

5. 参考文献

[1] Google map

<https://www.google.co.jp/maps/?hl=ja>